

大成建設株式会社

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none">● 業種：総合建設業● 事業概要：建築事業、土木事業、開発事業等● 事業規模[任意]：従業員数 8,415名
2.削減目標案 ※定量値公表が難しい場合、定性的説明でも可	<p><Scope 1・2 の削減目標と削減に向けた取り組み></p> <p>目標：施工段階のCO₂排出量の削減 取組：より効率的な施工、重機・車両の燃料使用の削減と省エネ</p> <p><Scope 3 の削減目標と削減に向けた取り組み></p> <p>目標：運用段階のCO₂排出量の削減 取組：ZEB(ゼロ・エネルギー・ビル)を含む省エネ設計の推進</p>

大成建設株式会社

項目	内容	
3.基準年のGHGインベントリ[数値は任意]	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2・3の排出量の状況 (※割合は必須、グラフを挿入) 	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1 : 3%
	<p>Scope1+2+3</p> <p>Legend:</p> <ul style="list-style-type: none"> Scope1 Scope2 Scope3 Cat.11 Scope3 Cat.1 Scope3 Cat.5 Scope3 Cat.12 Scope3 Cat.4 Scope3 Cat.2,3,4,6,7,8 	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2 : 1%
		<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE3 : 96% 目標の対象セクター : カテゴリー11

大成建設株式会社

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<ul style="list-style-type: none">● リスク：<ul style="list-style-type: none">・災害による人的・物的損失や工事中断・遅延・低炭素化技術の不足による受注機会喪失● 機会：<ul style="list-style-type: none">・インフラ強靱化・再構築による受注機会増加・省エネ, Z E B 関連技術開発による受注機会増加
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none">● 日本国もパリ協定に批准しており、大きな社会的要請のひとつである● ESG投資の環境分野の指標のひとつである

大成建設株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">● 環境部門で目標案を検討、社内環境委員会で社内コンセンサスを得た上で、SBTイニシアチブへ提出。● 目標の実現可能性について社内で意見があったが、既にある長期目標の実現や社会的要請に応じてバックキャストで目標を設定するという方針を説明し、理解を得た。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● Scope 1 の削減においては、排出原単位の低減のためICT等の利用による生産性の向上が必要がある。● Scope2の削減においては、電力の温暖化ガス排出係数の低下や更なる省エネの推進が必要である。● Scope3の削減においては、グリーン調達やZEBを含む省エネ設計の推進、サプライチェーンの環境配慮意識の向上が必要がある